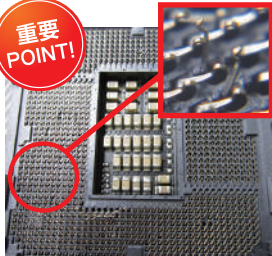


# 自作PC組み立てのポイント

正しい組み立てを行い、快適な自作PCライフをお楽しみください。

## インテル系マザーボードCPUソケットのピン折れ・曲げ・破損にご注意！

重要 POINT!



← 意外に自作経験者にも多い症状

CPUの取り付け時は『静電防止手袋』を付けずに『素手』で行いましょう。

手袋の繊維をピンに引っ掛けて、ピンを曲げてしまうおそれがあります。

主な注意点

- ①CPUは真上から『水平に』設置しましょう。(全てのピンに同時に載せるイメージ)
- ②取り付け時はCPUの『向き』を確認。
- ③ピンを手で直接触れないようにしましょう。



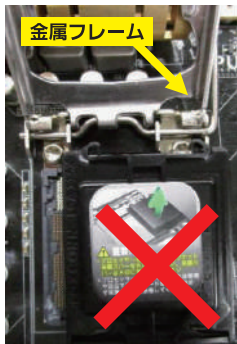
ポイント

ソケット保護カバーはCPUを設置した状態で金属フレームを下ろせば自動的に外れます。手で外す場合は金属フレームを持ち上げた状態で取り外しを行いましょう。

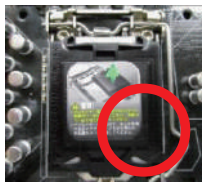


意外 POINT

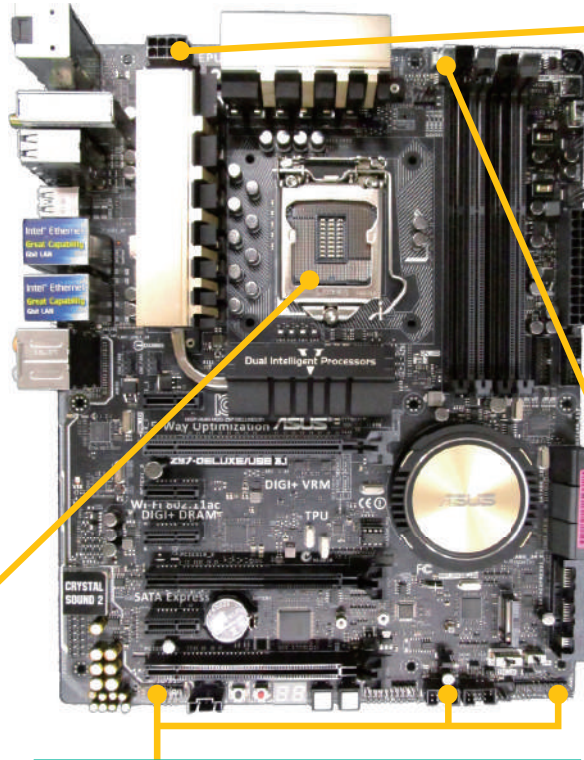
## ソケット保護カバーの内付け再度、取り付ける際にご注意！



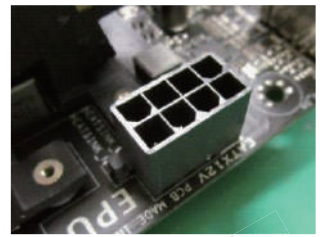
LGA1150/2011世代以降の保護カバーは、金属フレームの外側に設置します。  
※誤って内側に取り付けると、ピンを曲げてしまいます。



カバー裏の突起がピンに触れないよう気をつけましょう。(カバーを内側に設置した際のピン曲がりの原因です)  
※取り外した保護カバーは修理や交換の際に必要となりますので大切に保管しておくようお願いします。



CPU用8ピン(4+4ピン)電源の取付忘れ  
VGA用の電源8ピンを誤挿入

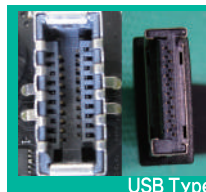


CPUクーラー用4ピン端子に  
FDD用の電源4ピンを誤挿入



※ファン用端子にFDD用コネクタを取り付けると発火します。

## 前面I/Oポートの配線ミス ピン折れや発火するリスクあり



USB Type-C

USB Type-Cコネクタの内部端子には上下の向きがあります。片側のみT字になっているので向きを合わせて取り付けましょう。

※配線は必ずマニュアルを参照しましょう。  
内部USBコネクタやHD Audioコネクタは間違えた向きで挿すとピンを曲げてしまう恐れがあるので注意が必要です。



ネジの種類に注意



インチネジ ミリネジ

自作PCで主に使用するネジには「インチ」と「ミリ」があります。ネジ穴に合わせて選びましょう。インチネジは主に3.5インチHDDや電源ユニットに、ミリネジはSSDや光学ドライブの固定に用います。

## AMD製CPU、4つの重要な注意点！

### ピン曲がりに注意



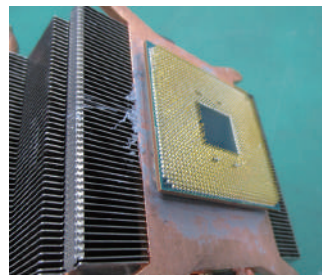
インテル系の構成とは異なりCPU側にピンがあります。曲げてしまった場合、理由を問わず保証対象外となります。

### 取り付けの向きに注意



CPUの四隅の一角にある印をマザーボードの基盤にある印と合わせます。表のロゴの向きがレバーに対して垂直になります。

### クーラーの取り外しに注意



グリスの粘着力でCPUと一緒に外れてしまい、ピンを曲げてしまうことがあります。外す前に温めたりねじる・傾けるなどが有効です。

### 箱・付属品の保管に注意



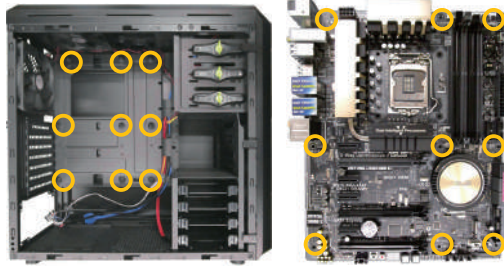
保証を受ける為には箱と付属品がすべて必要となります。箱に記載のシリアルナンバーが判読不能になっていたり、CPUと一致しない場合は保証対象外となります。

# スペーサーの取り付け忘れや、必要以上に設置してショート

インチネジ用・ミリネジ用があります



(図例)一般的なATXマザーボードのネジ位置



PCケースとマザーボードの間に取り付ける『スペーサー』はマザーボードのネジ穴の数だけ過不足なく取り付けましょう。過不足があると余分なスペーサーと基板が接触したり、ケースの底板とマザーボードが接触してショートする事があります。(発火・故障に繋がる可能性あり)マザーボードを設置する際に、マザーボード裏面の配線やチップを、スペーサーの角にぶつけて破損させないように注意しましょう。

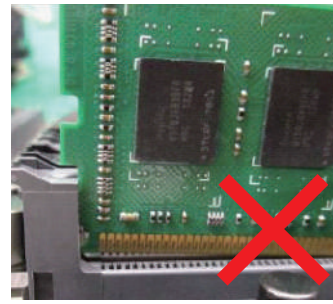
## VGA補助電源の取り付け忘れ



ビデオカードに補助電源コネクタが2つある場合は必ず両方も接続しましょう。

「画面が映らない」「ゲームを起動した直後に落ちる」等の症状の原因になります。

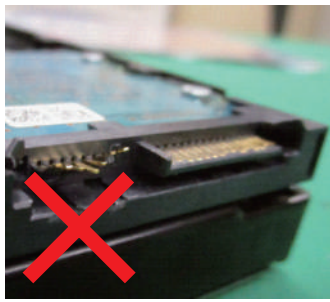
## メモリを奥まで挿し込んでいない



メモリは端子の切り欠け位置で向きを確認し、メモリの両端を持ってスロットに対して『垂直に』挿し込みます。

奥まで挿し込むと固定用のツメが上がり、カチッと音が鳴ります。

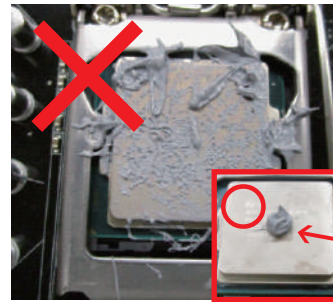
## S-ATAコネクタの物理破損



ケーブルを『斜め』に着脱しようとしたり、接続したケーブルを『下方向』に引っ張ったりすると、HDD側のコネクタは簡単に壊れてしまいます。

ケーブルは『まっすぐ』着脱しましょう。

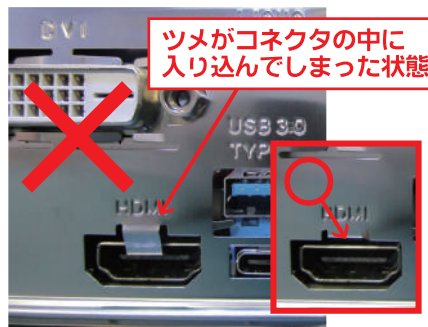
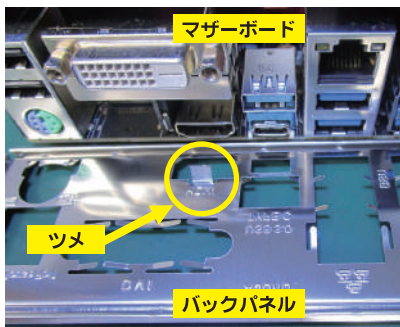
## グリスの塗り過ぎにご注意



CPUグリスは塗り過ぎると、取り付け時の圧力で横から溢れ出してしまいます。グリスがソケット内部にまで入ると不具合の原因になりますので適量を守りましょう。

適量は米粒2~3粒程度  
※AMD系CPUはおおよそ倍量

## バックパネル( I/Oシールド、I/Oパネル ) のツメがコネクタ内に入り込んでいる



ツメがコネクタの中に入り込んでしまった状態

マザーボード付属のバックパネルと背面ポートの位置合わせと取り付けを行うときは、ツメがコネクタの内部に入り込まないように注意してください。

前もって軽く上に曲げておくと取り付けやすくなります。元々はコネクタの外側に接地させてアースとなる部品です。取り付けを誤るとコネクタが使用できないだけでなく、漏電やノイズの原因となります。

## シールを剥がさないこと



各種PCパーツの基盤やコネクタ等に貼られたシール類は製品型番やシリアルナンバーなどが記載しており、剥がしてしまうと、保証の対象外になります。

経年劣化などで自然に剥がれてしまった場合も、捨てずに保管しておきましょう。

## ツクモサポートセンター

組み立てたパソコンが動作しない場合は、ツクモサポートセンターまでご連絡ください。

PCパーツ・周辺機器の電話サポート窓口

0505835-1094 (IPフォン)

■ 月~金 11:00~19:00  
■ 土日祝 10:30~18:30

<https://support.tsukumo.co.jp/>

〔サポートFAQ〕内に〔自作PC組立マニュアル〕もごさいます。→

